

平成30年度 磐田市立神明中学校 学校評価書

A:十分満足 B:おおむね満足 C:もう少し努力すべき D:大いに努力が必要

| 重点                 | 目標・取組  | 評価指標  | 自己評価  | 考察・改善策   | 学校関係者評価委員から   |
|--------------------|--|---|---|--|---|
| 「進んで、さつわをやかに       | <ul style="list-style-type: none"> <li>「おはよう、こんにちは、失礼します、さようなら等」からコミュニケーション力の向上を目指す。</li> <li>授業での元気のよい挨拶</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶がしっかりとできているか。</li> <li>地域の人に挨拶をしているか。</li> </ul>   | <p><b>A</b></p> <p><b>B</b></p>                 | <p>○【考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒89%(H29:92%)、保護者87%(H29:82%)、教職員86%(H29:85%)、学校運営協議委員100%(H29:100%)が、本校の生徒は挨拶ができていると評価している。今年度も生徒会や保護者、教師による「あいさう運動」を継続的に、また活発に行ってきた。校内ではさわやかな挨拶やコミュニケーションができていた反面で、自主的な挨拶、地域での挨拶には課題もあると感じられる意見もあった。</li> </ul> <p>※【改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子供も大人も、小学生も中学生も、家庭も地域も学校も、「自分からあいさつ・温かなあいさつ」によって、温かな地域づくりに貢献していきたい。</li> </ul>  | <p>■【御意見】</p> <p>挨拶運動のときは、比較的良くできていると思った。 / こちらから挨拶すれば返ってくるが、地域では難しい。 / こちらから声掛けしないと、挨拶ができない子が多い。 / 生徒から先に挨拶はないが、言えば挨拶が返ってくる。 / 道で出会ったとき、子供から挨拶が来る。 / 散歩中に会ったときに進んで挨拶をしてくれる生徒は半数ぐらいだと思う。</p>  |
| 粘り強く、「挑戦」をかききる     | <ul style="list-style-type: none"> <li>授業に集中し、自主学習に挑戦する。</li> <li>行事や部活動、各種大会、コンクール、検定試験等への挑戦</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>授業の内容が分かっているか。</li> <li>家庭学習の習慣を大切に、宿題や予習・復習などの学習に取り組めたか。</li> <li>学校行事や部活動、各種大会・コンクール等に積極的に挑戦できたか。</li> </ul> | <p><b>A</b></p> <p><b>A</b></p> <p><b>A</b></p> | <p>○【考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒84%(H29:80%)、保護者72%(H29:71%)、教職員96%(H29:85%)が、生徒は基礎的・基本的な内容が理解できていると評価している。また、生徒74%(H29:76%)、保護者69%(H29:63%)、教職員93%(H29:66%)が生徒は家庭学習の習慣が定着していると評価している。学校行事では、生徒94%(H29:95%)、保護者95%(H29:92%)、教職員100%(H29:97%)が肯定評価している。部活動では、生徒91%(H29:95%)、保護者89%(H29:90%)、教職員96%(H29:97%)が肯定評価をしている。生徒は、行事や部活動に昨年度以上に意欲的に挑戦し充実感を得ていることがうかがえる。</li> </ul> <p>※【改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>来年度の校内研修テーマ『わかる・できる・つながる』～主体的で深い学び合いを通して～を基に、一人一人の生徒を大切に、更なる学力向上を図っていききたい。また、個に応じた家庭学習の充実をより一層図っていききたい。</li> </ul> | <p>■【御意見】</p> <p>普段の様子はわからないが、参観会での授業は集中して取り組めているようだ。 / 常に見ていないが、そうあって欲しい。 / よく見ていないのでよくわからない。 / 文化活動や体育活動などを含め、充実していると思う。 / アクティブタイムやボランティア活動(3年)はよくやっている。</p>   |
| 「ポ進ランで、テイさわア」をかききる | <ul style="list-style-type: none"> <li>奉仕活動・福祉活動・環境整備を通して、思いやる心を育成する。</li> </ul>                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>奉仕活動、福祉活動等に進んで取り組めたか。</li> <li>福祉活動等を通じて、思いやる心の育成ができたか。</li> </ul>   | <p><b>B</b></p> <p><b>A</b></p>                 | <p>○【考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒52%(H29:61%)、保護者47%(H29:52%)、教職員90%(H29:94%)、学校運営協議委員88%(H29:90%)が、生徒はボランティア活動に進んで取り組んでいると評価している。今年度も、総合的な学習の時間「アクティブタイム」やボランティア活動を通して多くの生徒が福祉活動に進んで取り組むことができた。また、本校生徒のボランティア活動参加人数は磐田市の学校の中でも比較的に多い方だが、下降傾向にある。</li> </ul> <p>※【改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後も、学校文化「福祉の神明」づくり(「アクティブタイム」)の充実、ボランティア活動の紹介の工夫、生徒会による福祉活動の工夫を更に推進していく。一層、地域と連携をして、生徒のボランティア活動を実生活につながるものに深化させていきたい。</li> </ul>   | <p>■【御意見】</p> <p>菟山グリーン作戦への参加、ありがとうございます。 / 地域活動に参加している。ジュピロマラソン時の新貝公会堂での吹奏楽は例年同様印象に残った。 / 地区文化祭、地区防災訓練では、積極的に関わってくれた。 / 1、2年時に参加している生徒は少ないのではないかと感じた。 / 地域活動(交流センター事業など)に関心を持ち、大人たちと協力して参加する生徒も一部いる。地区の体育祭のときに、各種の役割を担当している。 / 地域の運動会や防災訓練への生徒の参加、ボランティアへの協力はとても良いと思った。 / 感謝している。地域事業の中で、一般社会人と会話ができている。地区の行事にいつも生徒さんを見掛けます。</p> |

学校関係者評価を受けてのまとめ

- 【成果】「授業の内容がある程度理解できる」や「先生は授業を工夫している」といった授業に対する生徒や保護者の満足度が毎年向上している。また、「落ち着いた生活をしている」「いじめのない明るく楽しい生活をしている」といった生活面の評価でも生徒や保護者からの高い評価が出ている。
- △【課題】「問題行動への組織的な対応」「外国にルーツをもつ子供への適切な支援」「ボランティア活動への参加」「地域への理解」に課題がある。また、「あいさつ」についても、概ね高い評価が出ている反面で、「自主的な挨拶」「地域での挨拶」といった点では課題があるという意見も見られた。
- ◎【来年度の重点】■来年度の教育活動については、今年度の方向性を継続し、よりきめ細やかで生徒一人一人を真に大切にする温かな学校「ファミリー神明」を経営方針の根幹に据えていくことを認めていただいた。■特に、「人権意識に基づく社会性の育成」「新学習指導要領の理念に基づく授業改善」「組織力を生かした質の高い指導・支援」といった三つの柱が確認された。■教育課程については、即位の礼に伴う10連休等もあり、例年の年間計画よりも、夏休みや冬休み、2学期のスタートがやや遅くなること、授業日数そのものは204日で今年度と同じ日数、同等の授業時数を確保していること、主体的で深い学び合いを通じた継続的な授業改善、特別の教科道徳について量的確保・質的転換を目指して力を入れていくことを確認した。■本校の教育課題については、増加の一途をたどっている「不登校を減らす組織的な取組の必要性」が話題となった。最近の報道にもあるように、子供たちの人生や生命がかかっているため、来年度の教育活動において、学校・家庭・地域が一丸となって、子供たちを真に大切にする教育、誰でも学校に行きたくなくなる教育を一層実現していくことが必要だという意見が出された。■「あいさつ」に関しては、自主的で温かな挨拶を大切にして、家族的で温かな学校づくり、安心・安全な地域づくりを、大人も子供も一体になって目指していきたい。■「挑戦」に関しては、真に子供たち一人一人の学びを大切にした教育活動になるように、授業や学校行事、部活動等を一層充実させていきたい。■「ボランティア」に関しては、これからの社会を創り出していく子供たちが、社会や世界と向き合い、様々な人と関わり合い、自分の人生を切り拓いていく力を高められるように、地域の人的・物的資源を活用したり、小中学校が一貫教育を推進したりして、地域と共に、みやのもり学府の教育を一層深化させていきたい。